

小学校におけるプログラミング教育必修化に向けた準備に係る支援計画

1. 策定目的

平成 32 年度から小学校でプログラミング教育が必修化されます。

本計画は、必修化に向けた準備を進めるため、学校の現場や実施すべき課題を把握し、導入年度からスムーズな授業展開ができること、またその準備に係る教職員の負担を軽減することを目的に策定しました。

小学校学習指導要領の改訂

位置づけ

- ・小学校段階でコンピュータ等の情報手段に慣れ親しませること
- ・情報を処理する上で必要な論理的思考力を身に付けること

実施方法

- ・算数や理科、総合的な学習の時間など各教科で実施する
- ・各学校や学級の状況に応じて授業を展開する
- ・**情報を処理する上で必要な論理的思考**を養う授業を実施する

プログラミングの
体験を通して

プログラミング的思考

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力

学校現場の現状

- ・実施内容及び方法が学校に委ねられているため、情報を得たい
- ・他市町村等の先進事例が少ない
- ・学校にある機材が統一されていない

取組むべき課題

- ・教職員が、プログラミングについての知識を身に付けること
- ・教職員が、指導案や授業展開を考え、実施できるようになること
- ・概ね学校にある機材で、無理なく実施できること

教職員の声

- ・プログラミング教育が必修化されるため準備の必要性は感じている
- ・何年生で実施するのか、どのような機器を使い、どのような授業展開が必要なのかについて研修を実施する必要がある
- ・現段階でプログラミングについて理解している教職員は、多くない
- ・学校に配備されている情報機器は、学校ごとに異なっている

2. 目標と支援

目標

3つの目標を定め、これに基づいた支援を実施していきます。

目標 1

教職員が、プログラミングに関する知識や技術を習得できる

目標 2

教職員が、学習のねらいや児童の実態に応じた指導案を作成し、実践できる

目標 3

授業づくりのための情報を蓄積して、教職員が参考にできる

スケジュール

年度	内容
H30	調査・研究(モデル授業、情報教育主任向け研修 etc.)
H31	周知・展開(モデル授業の継続、教員向け研修、プレ導入 etc.)

支援体制

教育研究所と情報課で役割を分担し、相互に連携しながら教職員のプログラミング教育の支援を行います。

教育研究所	情報課
学校との調整	プログラミング講座
指導案作成支援	教材研究支援
教材の購入 等	研修内容調整 等

支援内容

- モデル授業の実施支援
- 教員向けプログラミング研修の開催
- 指導案作成支援
- 導入機材等の検討
- 事例等の情報収集及び情報提供
- 子ども向けプログラミング講座の開催
- 各校からの相談受付

プログラミング
とは何か？
どのように授業を
すれば良いのか？

平成 30 年 4 月



平成 32 年 3 月

プログラミング教育
を実施できる